

平成26年度

すずらん児童プラン

教育目標

未来を切り拓く たくましい力をもつ 子どもの育成

心豊かで 思いやりのある子 (笑顔で)
 自ら学び よく考える子 (かしこく)
 健康で たくましい子 (たくましく)



目指す学校像

- ① 児童一人一人が学ぶ楽しさを実感できる学校
- ② 個性を生かし、小規模校のよさを生かす学校
- ③ 全職員が信頼し合って生き生きと働く学校

目指す教師像

- ① 児童を愛し児童とともに歩む教職員
- ② 専門家として自ら学び続ける教職員
- ③ 健康で明るく、保護者や地域の信頼に応える教職員

平成25年度の学校評価

成 果

- ① 「あいさつ運動」や家庭での目標設定により進んであいさつできるようになってきている。
- ② 野外活動をはじめ活動を工夫することで児童の交流に対する意欲を高めることができた。
- ③ 一部教科担任制の実施等により学習活動の充実をはかることができた。
- ④ 児童一人一人が話す機会を意図的に設定することで、話すことへの抵抗感がなくなっている。

課 題

- ① 多くの人に支えられていくことを実感させ、感謝の気持ちを表現できるようにする。
- ② 人の話をよく聴き、自分の考えをしっかりと伝えることができるようにする。
- ③ 交流学习の充実をはかり、児童が統合に向けさらに意欲が高まるようにする。
- ④ 学習や運動に粘り強く取り組むよう指導の在り方を工夫する。

目指す児童像



笑顔で

かしこく

たくましく

心豊かで思いやりのある子

自ら学びよく考える子

健康でたくましい子

H26 重点事項

○笑顔いっぱいの学校をつくります。

- ・笑顔で元気にあいさつできる。
- ・感謝の気持ちを「ありがとう」の言葉で表現できる。
- ・人のために進んで働くことができる。
- 交流学习の充実**に努め、助け合う力や思いやりを育てます。
- ・誰とでも協力して学習や活動ができる。
- 地域の方々との交流を深め、地域を愛する心**を育てます。
- ・地域について学び、地域への理解を深めることができる。
- ・地域への感謝の気持ちをもつことができる。

○学力向上に努めます。

- ・最後まであきらめずに学習に取り組むことができる。
- ・基礎基本を自分のものにできる。
- ・自分の思いを書いたり話したりできる。
- 自主学習を推奨**します。
- ・目標をもって家庭学習に取り組み継続できる。
- ・本に親しみ、読書の楽しさを味わうことができる。

○体力の向上に努めます。

- ・目標をもってあきらめずに運動に取り組むことができる。
- ・外遊びや運動の日常化を図り、自分の体力を向上させることができる。
- よい生活習慣の定着**を図ります。
- ・「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣化し規則正しい生活ができる。
- ・ノーテレビノーゲームデーに取り組み家庭での生活の仕方を工夫できる。
- ・家庭でのお手伝いが継続的にできる。
- 防災教育を充実**させます。
- ・自分の判断で行動し、身を守ることができる。

学校・家庭・地域との協働型目標

笑顔であいさつする

- ・笑顔で場に応じたあいさつができる。
- ・感謝の気持ちを「ありがとう」の言葉で表現できる。

自分の思いや考えを表現する

- ・人の話をよく聴き、的確に応えることができる。
- ・自分の思いや考えを書いたり話したりして、相手に伝えることができる。

本校の沿革及び

仙台市の西南端に位置し、東に名取市、南に村田町、西に川崎町と隣接した農村地域である。低い丘陵に囲まれた盆地で、北に大八山（267m）西に愛宕山（324m）が見える。歴史的に古くから開かれた地域で、古代縄文土器や弥生土器が出土されている。また、中世の館である根添館跡も残っている。

学区は、根添・北・中沖・板橋の4地区に分かれ、地域活動を盛んに行っている。坪沼に春の訪れを告げる「坪沼八幡神社例大祭」では、地域一丸となって行事が執り行われる。子どもたちは、みこしと共に集落を練り歩き、「坪沼祭囃子」の演奏や踊りに加わったり、巫女として舞を披露したりする。子どもたちは、年間をとおしてさまざまな地域行事「防災訓練」「蛭と平家琵琶の集い」や「秋の収穫祭」などに加わり、地域の方々にかわいがられ、まさしく地域と共に歩む学校である。



坪沼八幡神社例大祭

本校の概要

本校は地域のコミュニティの中心として、地域を愛し伝統を引き継ぐ子どもたちを育ててきた。平成11年12月には、木造校舎から現在のコミュニティセンターと防災センター、地域立の坪沼幼児学園が併設された新校舎が完成し、15年を経過したところである。

しかし、地域の少子化減少が著しく、平成26年度は幼児学園の閉園、そして平成27年度4月からは生出小と統合することとなった。

全校8名の小規模校であることから、他校や地域との交流を積極的に行うと共に、少人数のよさを生かした教育に努めている。地区民総出の協力による「学区民体育祭」や「地域防災訓練」は共催で行っている。地域の方々の農業指導による学童農園や、地域の方々を招いての「給食試食会」、「学芸会」や「感謝の会」は大変好評を博している。また、給食は、ランチルームで全校児童と教職員が一堂に会し、「お誕生日給食」や委員会企画行事などもあり、食育の大切な時間となっている。

「坪沼祭囃子」は、昭和55年以來、ふるさと教育の一環として継承活動を始め、平成18・19年度は「わが国の伝統文化を尊重する教育に関する実践モデル校」の指定を受け、全校を上げて取り組んだ。現在も上級生から下級生へ、そして幼児にその技を引き継いでいる。



豊かな自然の中で外遊びや畑作業



坪沼地区総出の学区民体育祭



学校行事

| 月 | 学校行事等 | 月 | 学校行事等 |
|---|--|----|--|
| 4 | 仙台市学力調査, 学校ボランティア結団式, 交通教室, 授業参観PTA総会, 家庭訪問 | 10 | 第1学期終業式, 秋季休業日, 第2学期始業式, 市音楽発表会参加 |
| 5 | 開校記念式, 学区民体育祭, 校外学習(市内自主研修) | 11 | 避難訓練, オークストラ鑑賞会, 復興プロジェクト, 交流会④(生出小学芸会), 学芸会 |
| 6 | 交流学習①, 地域防災訓練, 全校修学旅行(東京方面), FM太白キッズ坪沼支局活動 | 12 | 持久走大会, 親子給食会, 授業参観・懇談会, 面談②, 職場体験発表会参加 |
| 7 | 授業参観懇談会, 交流学習②, 地域給食試食会, 面談①夏季学習会(プール開放日), | 1 | 中学校授業体験, 給食週間, 校外学習 |
| 8 | 夏季学習会(プール開放日), おいで里ネットキャンプ, PTA奉仕作業, 夏休み作品展, | 2 | 5年交流学習, 感謝の会(総合発表会), 校内書きぞめ展, 授業参観・懇談会 |
| 9 | 避難訓練, 生出中文化祭参加, 親子食育講座, 交流学習③, 市体育大会参加, | 3 | 坪沼小お別れ会, 故郷復興プロジェクト, 卒業式, 修了式 |